

令和6年度 岩手県立軽米高等学校経営計画 (案)

校長：亀山 文

1 校訓・教育目標	<p>校訓 「明るく 強く 逞しく」</p> <p>校是 「風雪に耐え大いなる未来を拓かん」</p> <p>教育目標</p> <ol style="list-style-type: none">1 学問尊重の精神を培い、個に応じた学びを通して、社会を創造的に歩むために必要な学力・能力・主体性を育成する。2 情操を涵養し、友愛と責任を重んじ、豊かな人間性を育成する。3 心身の健康の保持増進に努め、逞しく生きる力を育成する。4 多様な価値観を理解し、地域の発展に寄与する資質を育成する。						
2 スクール・ポリシー	<table border="1"><tr><td data-bbox="193 638 531 927">(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)</td><td data-bbox="531 638 1458 927"><ol style="list-style-type: none">1 学びの価値を理解し、学んだことを生かして主体的な判断ができる確かな学力を育みます。2 情操に富み、正義の尊重と自他の敬愛に基づく関係性を重んじる豊かな人格を育みます。3 困難を克服しようとする強く逞しい心身を育みます。4 持続可能な社会実現に向け、多様な文化を理解し世界共通の利益に資する価値観を育みます。5 郷土軽米を愛し、地域の課題解決と発展に主体的に取り組むための知識と発想を育みます。</td></tr><tr><td data-bbox="193 927 531 1375">(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</td><td data-bbox="531 927 1458 1375"><ol style="list-style-type: none">1 学習内容の基礎基本の習得を大切に、社会や実生活など様々な場面への活用を想起させることを通じて、学びの有用性や楽しさを実感する個別最適な学びに取り組めます。2 授業や行事等における対話を通して、考え方や価値観の共有を図りながら、共感や多様性を受容することを学ぶことで相互の人格の尊重を促し、人格の成長促進に取り組めます。3 学習や課外活動における生徒個々の課題取組への支援を通して、解決のプロセスを体験させながら困難克服への姿勢とチャレンジする心を育てることに取り組めます。4 世界共通の利益に係る学びや異文化と触れ合い多様性を理解する学びを通して、世界の一員としての使命と責任ある行動の啓発に取り組めます。5 地域探究学習等により軽米の理解を深め、課題解決のアイデアを考える機会を通して、地域の発展に寄与する人材の育成に取り組めます。</td></tr><tr><td data-bbox="193 1375 531 1503">(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</td><td data-bbox="531 1375 1458 1503"><ol style="list-style-type: none">1 好奇心や探究心をもち、挑戦する気持ちで学びたい生徒を求めます。2 他者を思いやり、公共心のある生徒を求めます。3 上記のスクール・ポリシーに共感できる生徒を求めます。</td></tr></table>	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none">1 学びの価値を理解し、学んだことを生かして主体的な判断ができる確かな学力を育みます。2 情操に富み、正義の尊重と自他の敬愛に基づく関係性を重んじる豊かな人格を育みます。3 困難を克服しようとする強く逞しい心身を育みます。4 持続可能な社会実現に向け、多様な文化を理解し世界共通の利益に資する価値観を育みます。5 郷土軽米を愛し、地域の課題解決と発展に主体的に取り組むための知識と発想を育みます。	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none">1 学習内容の基礎基本の習得を大切に、社会や実生活など様々な場面への活用を想起させることを通じて、学びの有用性や楽しさを実感する個別最適な学びに取り組めます。2 授業や行事等における対話を通して、考え方や価値観の共有を図りながら、共感や多様性を受容することを学ぶことで相互の人格の尊重を促し、人格の成長促進に取り組めます。3 学習や課外活動における生徒個々の課題取組への支援を通して、解決のプロセスを体験させながら困難克服への姿勢とチャレンジする心を育てることに取り組めます。4 世界共通の利益に係る学びや異文化と触れ合い多様性を理解する学びを通して、世界の一員としての使命と責任ある行動の啓発に取り組めます。5 地域探究学習等により軽米の理解を深め、課題解決のアイデアを考える機会を通して、地域の発展に寄与する人材の育成に取り組めます。	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none">1 好奇心や探究心をもち、挑戦する気持ちで学びたい生徒を求めます。2 他者を思いやり、公共心のある生徒を求めます。3 上記のスクール・ポリシーに共感できる生徒を求めます。
(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none">1 学びの価値を理解し、学んだことを生かして主体的な判断ができる確かな学力を育みます。2 情操に富み、正義の尊重と自他の敬愛に基づく関係性を重んじる豊かな人格を育みます。3 困難を克服しようとする強く逞しい心身を育みます。4 持続可能な社会実現に向け、多様な文化を理解し世界共通の利益に資する価値観を育みます。5 郷土軽米を愛し、地域の課題解決と発展に主体的に取り組むための知識と発想を育みます。						
(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none">1 学習内容の基礎基本の習得を大切に、社会や実生活など様々な場面への活用を想起させることを通じて、学びの有用性や楽しさを実感する個別最適な学びに取り組めます。2 授業や行事等における対話を通して、考え方や価値観の共有を図りながら、共感や多様性を受容することを学ぶことで相互の人格の尊重を促し、人格の成長促進に取り組めます。3 学習や課外活動における生徒個々の課題取組への支援を通して、解決のプロセスを体験させながら困難克服への姿勢とチャレンジする心を育てることに取り組めます。4 世界共通の利益に係る学びや異文化と触れ合い多様性を理解する学びを通して、世界の一員としての使命と責任ある行動の啓発に取り組めます。5 地域探究学習等により軽米の理解を深め、課題解決のアイデアを考える機会を通して、地域の発展に寄与する人材の育成に取り組めます。						
(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	<ol style="list-style-type: none">1 好奇心や探究心をもち、挑戦する気持ちで学びたい生徒を求めます。2 他者を思いやり、公共心のある生徒を求めます。3 上記のスクール・ポリシーに共感できる生徒を求めます。						
3 魅力化協働パートナー	<p>軽米町、軽米町教育委員会、軽米町立軽米中学校、軽米町地域おこし協力隊、(株)小松製菓専務取締役 日向 正勝 氏</p>						

(様式1)【高等学校用】

		重点目標	達成指標
(1) 今年度の重点目標		ア 軽高プライド(SI)の確立	・入学して良かったと答えた生徒の割合【75%以上】学校評価アンケート
		イ 学びの充実による学力向上	・授業が分かると答えた生徒の割合【6575%以上】学校評価アンケート
		ウ <u>基本的な生活習慣の確立と安心安全な学校生活の保障</u> <u>実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる</u>	・ <u>年間の欠席率</u> 【1%以内】 <u>認知したいじめの未対応件数</u> 【0件】
		エ キャリア教育充実による進路実現	・希望する進路目標達成率【90%以上】
		オ 地域社会に貢献する人材育成	・地域への理解が深まったと答えた生徒の割合【80%以上】総合的な探究アンケート
		カ 不適切な指導のない学校づくり	・先生方は、公平・公正に生徒に接していると答えた生徒の割合【70%以上】学校評価アンケート
	4 目指す学校像	(2) 取組方針	ア 軽高プライド(SI)の確立 (ア) 学校の魅力化を促進し、「軽高のよさ」を自覚できるよう生徒の学校肯定感を高める (イ) <u>生徒の主体的な活動を保障し、高校生活の充実を実感できるようにする</u> <u>軽高三本柱【「時間の厳守」「挨拶の励行」「掃除の徹底」】を通して基本的な生活習慣を確立し、生徒一人一人が自律することにより高校生活の充実を図る</u>
イ 学びの充実による学力向上 (ア) わかる授業への教科指導充実と生徒の学習習慣確立を進め、確かな学力を育む (イ) 客観的な学力評価ツール等を活用し、生徒個々に寄り添った学習支援を行う			
ウ <u>基本的な生活習慣の確立と安心安全な学校生活の保障</u> (ア) <u>生活指導三本柱【「時間の厳守」「挨拶の励行」「掃除の徹底」】を定着させる</u> (イ) <u>安心安全な学校生活を保障するため、日常的ないじめ防止と生徒理解に努める</u> <u>実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる</u> (ア) <u>いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりを行う</u> (イ) <u>いじめの疑いに関する情報や児童生徒の問題行動などに係る情報の収集と記録、共有を行う</u>			
エ キャリア教育充実による進路実現 (ア) 3年間を見通した進路指導計画のもと、生徒のニーズに応じた進路指導を展開する (イ) 各課・学年・教科が連携し、全職員による組織的な進路指導体制を構築する			
オ 地域社会に貢献する人材育成 (ア) 地域学習を通して、「軽米のよさ」を知り、「地域に根ざし、生きる」ことを考えさせる (イ) 地域課題の解決に応えるために、中高一貫教育及び地域連携の取組を推進する			
カ 不適切な指導のない学校づくり (ア) 生徒の心身の健やかな成長を願い、生徒一人一人の人権を尊重する (イ) コンプライアンスの徹底を図り、体罰・暴言等のない明るい学校づくりに努める			